

本市の全国学力・学習状況調査結果概要（報告）

平成21年9月24日
由利本荘市教育委員会

本調査は、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析し、その成果を検証し学習指導の改善を図ることなどを目的として平成19年度から文部科学省が実施しているもので、本年度は4月21日に実施されました。

全国の小学校6年生と中学校3年生を参加対象として実施され、本市全体では小学生が約720名、中学生が約780名参加しました。

調査内容は、過去2年と同様に学習に関しては、国語と算数・数学の2教科について、主として「知識」に関する調査問題Aと、主として「活用」に関する調査問題Bの2種類、小学校と中学校で合計4種類実施されました。その他に、生活環境や学習習慣等に関する児童生徒の質問紙調査と、主に校長が答える教育環境に関する学校質問紙調査も実施されました。

さて、本市の調査結果の概要としましては、小学校・中学校の平均正答率において、国語、算数・数学とも全国平均を大幅に上回り、本県の3年連続全国1位及びトップクラスの成績に貢献しました。また、昨年同様、県と比較しても無解答率が低く、難しい問題にも最後まであきらめることなく取り組む子どもたちの姿が現れています。

さらに、昨年度までの2回の調査で課題となっておりました活用に関するB問題については、小学校、中学校ともに、伸びを示しており、これまでの結果を受けた取り組みの成果が現れつつあります。課題解決のために構想し自分の考えを的確に表現する思考力や表現力等の育成については、今後も指導方法について研究していく必要があります。以上のことから、本市の学力の状況については、小学校、中学校とも概ね良好であると考えております。

質問紙調査の概要としましては、本市の児童生徒は規則正しい生活習慣や予習・復習などの家庭学習の習慣が身に付いていると捉えることができましたが、テレビゲームなどをやる時間が全国と比較して多いことや家庭で手伝いをするのが少ないなど、家庭との連携を更に強化し継続して取り組むべき課題も確認することができました。

今回の調査結果から、本市の児童生徒は基礎的・基本的な力と規則正しい生活習慣が身に付いていることは今年度も確認できました。また、思考力や判断力等活用に関しては、指導の改善の在り方について研究を継続していく必要があると考えております。

いずれにしましても、本市の児童生徒が主体的に物事に取り組み、将来の夢や希望に向かって努力し続けることができるように支援していきたいと考えております。

【資料】 全国及び秋田県の平均正答率一覧

< 小学6年 平均正答率 >

	国語A	国語B	算数A	算数B
秋田県	75.3	60.4	86.2	63.7
全国	69.9	50.5	78.7	54.8

< 中学3年 平均正答率 >

	国語A	国語B	数学A	数学B
秋田県	82.3	81.8	68.8	63.4
全国	77.0	74.5	62.7	56.9